

当事者共生事業 “ななかまど Project” 報告

担当者: 秋山 満

●概要:

HIV 陽性者とその家族・パートナー・周囲の人の精神的な支えとなり、地域に根ざした情報を提供していくことを目的に

○HIV 陽性者のための面談ルーム 「くれば一緒に」 を実施している。

また、北海道 HIV 陽性者ピアグループミーティング事業として、

「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」を2014年6月より定期開催。

※2021年度も日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をいただいた。

●目的:

北海道に暮らす HIV 陽性者が「今よりもっと元気になるために必要としていること」を共に考え、形にしていく。

●経過:

- ・ 「くれば一緒に」 予約制 毎月第2・第4日曜日 13:00-15:00
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 2021年4月/8月/2022年2月は中止
＜札幌市内の公共施設にて開催＞
2021年10月16日(土) ・ 2021年12月18日(土) いずれも14:00～
＜オンライン(zoom)にて開催＞
2021年6月19日(土) 19:00～

●結果・効果:

- ・ 2021年度において「くれば一緒に」の利用は無かった。
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」は、6月は7名、10月は9名、12月は8名。
参加延べ人数は24名だった。(昨年度は全4回で28名)

●課題:

- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」については新型コロナウイルス感染拡大以前から、何度か参加していた方々の中から『卒業』をされる方が出てきている。感染初期に感じていた不安が和らいだり、誰にも話せない・・・と感じていた課題が、交流会で話すことや時間の経過により解決したり昇華したことが考えられる。また、当初の目的であった『出会い』や『当事者への相談』・『コミュニケーションの場』が、他のツール(Twitter など)によって代替出来るようになってきたこと、陽性者自身の転職・異動などライフスタイルの変化も要因の1つとなっている。
- ・ HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO はこれまで札幌のみで開催してきた。しかし札幌へのアクセスが難しい陽性者もあり、支援の届かない陽性者へ新たなアプローチとして、以前計画をしていたが担

当者の体調不良等により実現できなかった地方開催を実施したい。2022 年度は函館・帯広・旭川での開催を計画する。特に函館については青森県を中心とした北東北からの参加が期待できる。北東北は東京や仙台へのアクセスに時間・費用がかかり、他団体でも支援の手が届きにくい地域となっている。(MSM ALL JAPAN の 2021 年度ゆうそう検査において北東北(青森・秋田・岩手)は、仙台にあるコミュニティセンター ZEL ではなく、ぶれいす東京が担当して実施した。)

函館での実施については東京や仙台で HIV 陽性者交流会を実施する『日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様』と連携をし、青森県内の拠点病院・保健所等への広報も実施したい。

- HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO については 2022 年度も、日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をご了承いただいている。
- 「くれば一緒」の利用についてはここ数年ゼロの状態が続いている。事前予約をした上で対面での相談というハードルもあるため、今後は zoom などの web コミュニケーションツールを活用したオンライン相談や、事前に日時を定めて実施するオンライン相談会についても検討をしていきたい。